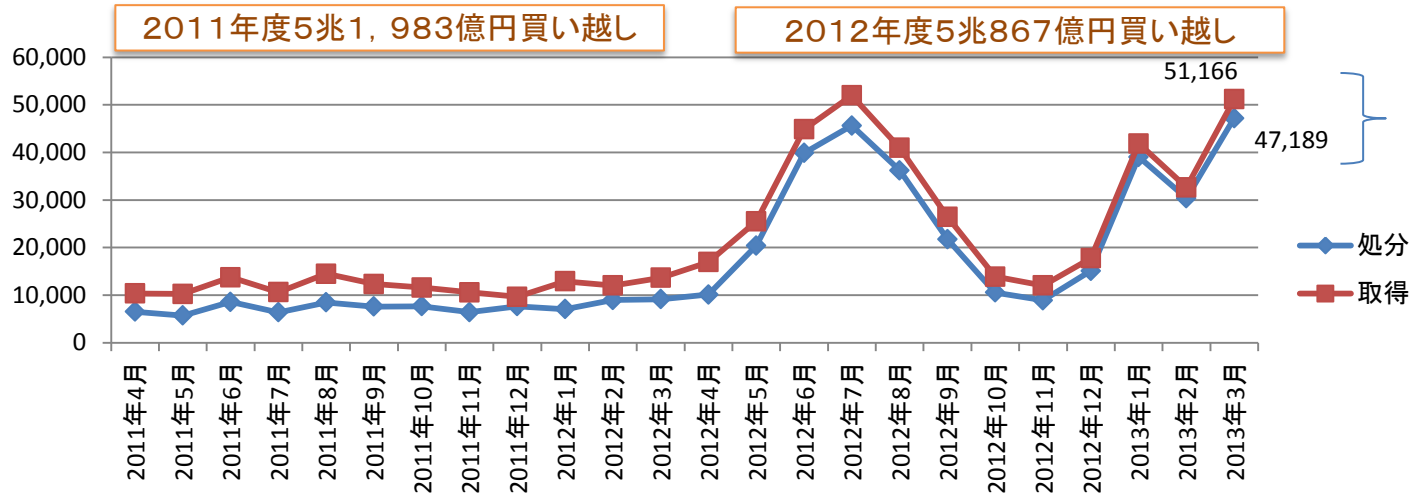


個人投資家の海外投資動向について

外債投資動向

金融商品取引業者(証券)経由の中長期債取得処分動向より



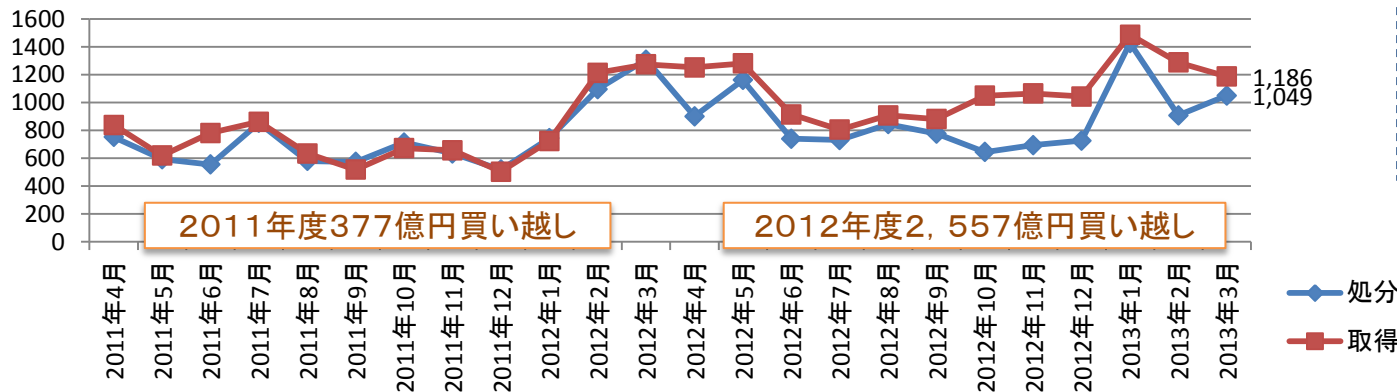
この差額の大部分が投資家にリテール向け外国債券として販売される。

※金融機関・保険・投信会社など機関投資家分は別途集計

2012年度の、個人投資家による外債投資動向では、買い越し額が前年度とは変わらないものの、売買が大幅に増加したと推測される

外国株式投資動向

金融商品取引業者(証券)経由の株式取得処分動向より

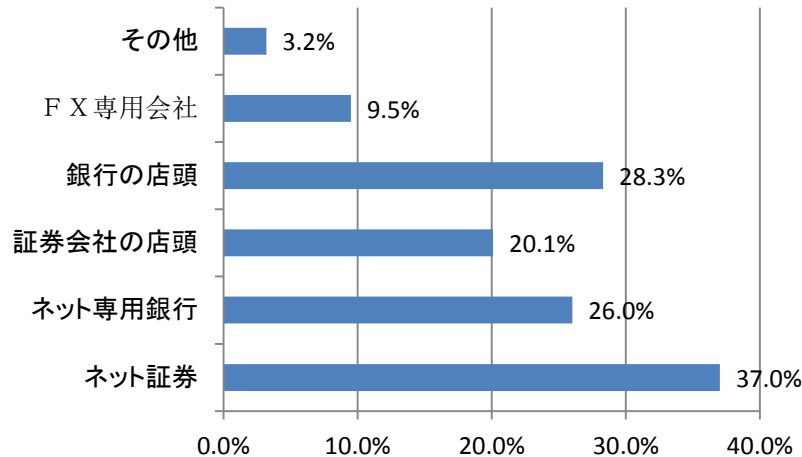


2012年度の、個人投資家による外国株式投資動向では、買い越し額が大幅に増加した

個人投資家の海外投資行動について

楽天リサーチによるインターネット調査より(2011年10月)

外貨投資経験者の金融商品の購入チャネルについて



インターネット調査なので、ネットチャネルにバイアスがかかっていると見られるが、最近のスマートフォン普及などにより、情報取得などからネット利用が一層進むと見られる。

日本証券業協会“平成24年度 証券投資に関する全国調査(個人調査)”によると、外債・外国株式などの保有比率は、1.7%

約177万人が、何らかの海外証券を保有していると見られるが、株式の推計保有者1,261万人に比べ、約14%にすぎない。

これまで購入したことのある外貨建て金融商品

